

令和4年度 水道水の水質検査結果

問合せ 水道事務所 ☎ 554-2269

水道法によって検査が義務付けられている法定検査 51 項目のほか、水源の特性や地域性を踏まえた 49 項目の検査を併せて行いました。

下表は、令和4年度に行った法定検査項目の検査結果です。全ての項目で基準値を下回っており、水道水の安全性が確認できました。

また自主的に、農薬類を含む水質管理上必要とされる項目 (52 項目)、発ガン性物質であるダイオキシン類や内分泌かく乱化学物質 (8 物質)

および有機フッ素化合物の PFOA、PFOS などの測定を行っており、国の目標値や指針値を下回る結果であることを確認しました。

水道水の放射性物質の測定は毎月 1 回行っており、不検出でした。水質検査および放射性物質の検査は、昨年度と同様に定期的に行います。

令和4年度の水質検査結果および令和5年度の検査計画について詳しくは、市公式サイトをご覧ください。



◇水質検査結果◇

分類	法定検査項目	測定結果 (mg/l)
病原生物による汚染指標	一般細菌	9 個/m l 以下 (基準値: 100 個/m l 以下)
	大腸菌	不検出
重金属	カドミウム・水銀・鉛・ヒ素・六価クロム	不検出
無機物	硝酸態窒素および亜硝酸態窒素	1.3 以下 (基準値: 10 以下)
	フッ素・亜硝酸態窒素・セレン・ホウ素・シアン化物イオンおよび塩化シアン	不検出
一般有機物	1,4-ジオキサン・四塩化炭素・ジクロロメタン・シス-1,2ジクロロエチレンおよびトランス-1,2ジクロロエチレン・テトラクロロエチレン・トリクロロエチレン・ベンゼン	不検出
消毒副生成物	臭素酸・塩素酸・クロロ酢酸・ジクロロ酢酸・トリクロロ酢酸・ホルムアルデヒド・ブロモホルム	不検出
	クロロホルム	0.006 以下 (基準値: 0.06 以下)
	ジブロモクロロメタン	0.003 以下 (基準値: 0.1 以下)
	ブロモジクロロメタン	0.005 以下 (基準値: 0.03 以下)
	総トリハロメタン	0.014 以下 (基準値: 0.1 以下)

分類	法定検査項目	測定結果 (mg/l)
着色	亜鉛・鉄・銅・マンガン・アルミニウム	不検出
味	ナトリウム	3.9 以下 (基準値: 200 以下)
	塩化物イオン	1.5 以下 (基準値: 200 以下)
	硬度	108 以下 (基準値: 300 以下)
	蒸発残留物	182 以下 (基準値: 500 以下)
発泡	陰イオン界面活性剤	不検出
	非イオン界面活性剤	不検出
臭気	フェノール類	不検出
基本的性状	有機物 (TOC)	1.5 以下 (基準値: 3 以下)
	pH 値	6.7 以上 7.7 以下 (基準値: 5.8 以上 8.6 以下)
	味・臭気・濁度・色度	異常なし
放射性物質	放射性セシウム 134 放射性セシウム 137	不検出 (目標値: 10 ベクレル/kg)

有機フッ素化合物 PFOS・PFOA 採水日: 9月9日	採水地点	測定結果 (1ℓあたりの ナノグラム数)	目標値 1ℓあたり 50ナノ グラム
	第1水源	0.97	
第2水源1号井	1.33		
第2水源2号井	1.30		
第3水源	1.34		



※かび臭物質の2項目は、原水に藻の発生が確認されなかったため、省略しました。
 ※測定値は、各配水区の最高値をまとめました。
 ※分類は、「公益社団法人日本水道協会発行の上水試験方法 I. 総説編」を参考にしました。

必読

風水害対策

問合せ 防災安全課防災・危機管理係 ☎ 207

台風や豪雨は正確な気象情報を収集し、予想される事態への対策をとることで、被害を最小限にとどめることができます。以下のポイントを踏まえて事前に準備しておきましょう。

非常時の持出品リスト

- チェックしてみましょう。
- 食糧 (飲料水を含む) ※人数×3日分が目安
 - 常備薬や救急医療品など
 - 現金 (小銭も) や印鑑、預金通帳など
 - 下着などの衣料品やタオル、寝袋など
 - ナイフや缶切り、水筒など
 - 懐中電灯やラジオ、それらに使用する電池
 - 携帯電話、スマートフォン、それらに使用する充電器やモバイルバッテリー
 - 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、生理用品など
 - マスクや除菌ウェットシートなど

- ① 家周りの危険箇所を確認しよう
雨や風が強くなる前に、風で飛びそうな物は屋内に入れ、窓や雨戸の鍵をしかりとかけて必要に応じて補強しましょう。
 - ② 持ち物を用意しよう
非常用持出袋を用意し、必要なものはすぐに持ち出せるようにしておきましょう。
 - ③ 普段から確認しておこう
「防災マップはむら (ハザードマップ)」を確認して、自宅や近隣、職場などの洪水や土砂災害の危険性を把握しておきましょう。
- また、「東京マイ・タイムライン」を活用して、どの状況になったらどう行動するかを、あらかじめ決めておきましょう。

1 事前の備え

- ④ 気象・河川などの情報を収集しよう
避難の準備や開始などを決める目安となるので、情報収集は重要です。

2 警戒レベルに応じた行動を

警戒レベルとは、集中豪雨や台風によって、水害などが発生する恐れがあるとき、どの情報をもとにどのような行動をとるべきか、それぞれの状況に応じて判断できるように、災害発生の危険度と

住民の方々が取るべき行動を5段階で表したものです (左表)。
 市公式サイトでは、このほかにインターネットを活用した情報の収集や避難所での過ごし方などに関する記事を掲載しています。併せてご覧ください。



警戒レベル 4 「避難指示」で必ず避難

避難情報等 (警戒レベル)			
警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	避難情報等
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
〈警戒レベル4までに必ず避難〉			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水 注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

※1 警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 警戒レベル3は、高齢の方以外も必要に応じて普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

特に記載がない場合の受付時間は土・日曜日、祝日、年末年始を除く午前8時30分～午後5時です。申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。